

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		市民情報センター・ゆうき図書館管理運営事業						予算事業名		市民情報センター・ゆうき図書館管理運営経							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 図書館法								
				10	05	05	05	経常経費									
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業							
		生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造															
		地域教育体制の充実						担当課係等		生涯学習課							
事業期間		継続 (平成16年度～ 年度)										生涯学習係					
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
地域の課題を解決できる知の拠点となる施設、また、生涯学習を支援する地域の教育的・文化的基盤となる施設を目指す。								市民の要望並びに憲法の精神(第21条、第23条、第25条、第26条等)及び教育基本法及び社会教育法の「生涯学習」の理念を踏まえた図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
○資料の収集・整備（図書・視聴覚・逐次刊行資料の収集・整備） ○地域支援（子育て・ビジネス・行政支援等の情報収集・提供） ○生涯学習支援・推進（職場体験学習・図書館ボランティア活動の場の提供） ○読書活動推進（としょかんたんけんツアー・子ども司書養成講座・読書通帳の利用推進） ○レファレンスサービス（レファレンスコレクションの構築・レファレンスライブラリアンの資質向上） ○利用者支援（施設・設備の利活用促進） ○施設・設備の改修								結城市民及び図書館利用者									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								平成16年度から平成28年度は、市の直営で管理運営を行ってきた。平成29年度から令和2年度は、ゆうき図書館と結城市民情報センターを一体的に管理運営するべく、（公財）結城市文化・スポーツ振興事業団（以下、「事業団」）を指定管理者として指定した。令和3年度から令和7年度は、事業団を指定管理者として再指定している。									
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】									
○資料の収集・整備・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○利用者支援 ○施設・設備の改修				○資料の収集・整備・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○利用者支援 ○施設・設備の改修				○資料の収集・整備料・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○利用者支援 ○施設・設備の改修									
■事業費																	
				R02年度		R03年度											
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	0										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	234,360	264,988										
歳入計（千円）				234,360		264,988											
歳出内訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）											
	01	報酬		15		24											
	07	報償費		12		0											
	10	需用費		5,725		4,800											
	11	役務費		160		158											
	12	委託料		211,764		231,089											
	13	使用料及び賃借料		9,082		9,083											
	14	工事請負費		5,919		18,834											
	17	備品購入費		1,683		1,000											
	歳出計（千円）（A）				234,360		264,988										
伸び率（％）						13.06											
備考																	

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	施設利用者数	人	目標	200,000.00	257,000.00	328,000.00
			実績	185,388.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ゆうき図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、市民からも図書館が運営されることの要望は高い。また、市民情報センターは市民の学習活動や交流の場を提供する施設として必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市と事業団が連携することによって、市民の読書や生涯学習の拠点として、安全かつ快適な利用が維持されている。
	手段の妥当性	A 妥当である	施設管理の管理運営には専門知識が必要なうえ、経費削減を図るためにも、指定管理者制度の導入は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	今後、設備の改修に多額の費用を要するが、情報センターは事業収入が多く見込めないため、コスト効率は低い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	数多くの市民に利用されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	情報センターやゆうき図書館では、各種の自主事業や講座等を実施し、子どもから大人まで参加するなど、生涯学習の拠点として成果をあげている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	施設の管理運営は、概ね目標水準に達している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
施設の運営は良好といえるが、建築後17年が経過し設備の老朽化が進んでおり、今後、改修に多額の費用が見込まれる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
設備の改修には、安全性、緊急性を考慮し、計画的に実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

■拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

☐改善改革しながら継続

☐現状のまま継続（改善・改革なし）

☐統合・新規事業への展開

☐縮小

☐休止

☐廃止・終了

☐予定どおりの要求

☐一部改善の上要求

☐今回は見送り

☐その他の処置

方向性の具体的内容
施設や設備の改修に最適な方法を調査、研究するとともに、年次計画を立てて効率的に実施していくことが必要である。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

■改善改革しながら継続

☐現状のまま継続（改善・改革なし）

☐統合・新規事業への展開

☐縮小

☐休止

☐廃止・終了

☐予定どおりの要求

☐一部改善の上要求

☐今回は見送り

☐その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。